

平成 20 年度丸亀市行政評価（外部評価）

# 報 告 書

平成 2 0 年 9 月

丸亀市行政評価委員会

平成 20 年 9 月 12 日

丸亀市長 新 井 哲 二 様

丸亀市行政評価委員会  
委員長 田 中 豊

### 平成 20 年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書の提出について

このたび、丸亀市行政評価実施要綱に基づき、平成 20 年度の外部評価を実施し、その結果を報告書としてとりまとめたので以下のとおり提出する。

この報告書においては、丸亀市の施策の進捗状況について行政外部の視点から評価するとともに、評価を通じて各委員から出された施策又は事務事業に関する様々な意見や提言についても幅広く盛り込んだところですので、今後丸亀市におかれては、今回の評価結果を踏まえ、該当する施策又は事務事業について所要の見直しを行い、翌年度以降の予算及び施策等の実施に反映されることを期待するものです。

## 目 次

1. 評価対象	1
2. 評価結果	1
(1) 施策の進捗度評価	1
(2) 施策・事務事業に関する意見・提言等	4
3. 行政評価委員会について	5
(1) 行政評価委員会の開催経過	5
(2) 丸亀市行政評価委員会委員	5

## 1. 評価対象

平成19年度から丸亀市総合計画がスタートしたことに伴い、丸亀市では行政評価が本格導入され、本年度が外部評価の実施初年度となる。

行政評価委員会では、総合計画に掲げる施策・事務事業をより広く把握し、全般的な分野について評価する考えに立って、行政内部による1次評価の対象とされた施策（41件）・事務事業（170件）全てを評価の対象とした。

## 2. 評価結果

本委員会では、平成19年度の実績に基づき、41の施策の進捗度合いについて評価するとともに、施策を進める上での手段の妥当性や個々の事務事業の内容について必要な意見・提言を行った。また、その他行政活動全般に関することや行政評価の改善に関することなど、総括的な意見も併せて述べることとした。評価作業にあたっては、所管部署との質疑応答、意見交換などを通じて、より議論の内容を深めながら実施した。

### (1) 施策の進捗度評価

総合計画基本計画に設けられた「成果指標」の実績値をもとに、施策の進捗度について各委員が採点し、次の区分でAからDの判定を行った。

区分	内容
A	予定どおり（以上に）進捗している
B	やや遅れている（現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる）
C	かなり遅れており、改善が必要である
D	成果が現われておらず、抜本的な手法の見直しが必要である

判定の結果は、下記一覧のとおりA判定（予定通り進捗している）が25の施策、B判定（やや遅れている）が16の施策、C判定及びD判定については0となった。1次評価結果と比べた場合、1施策「適切な土地利用と市街地の整備」において相違が見られ、1次評価A判定に対し外部評価がB判定となった。

No	施策名	合計点	判定	
			外部評価	1次評価 (参考)
1	地球温暖化の防止	19.0	A	A
2	循環型社会の構築	22.0	A	A
3	自然環境の保全と活用	21.0	A	A
4	歴史的景観の保全	22.0	A	A
5	文化財の保護	20.0	A	A
6	適切な土地利用と市街地の整備	17.0	B	A
7	住宅・住空間の整備	16.0	B	B
8	公園の整備	20.0	A	A

9	公共交通の整備	15.0	B	B
10	道路の整備	17.5	B	B
11	上水道の整備	21.0	A	A
12	生活排水処理施設の整備	21.5	A	A
13	農林水産業の振興	22.5	A	A
14	商工業と観光の振興	15.0	B	B
15	建物の耐震化の推進	17.9	B	B
16	港湾施設の耐震化と高潮対策	14.0	B	B
17	河川、排水路、急傾斜地等の改修	20.0	A	A
18	消防・防災体制の整備	17.5	B	B
19	救急・救命体制の強化	24.0	A	A
20	防犯対策の推進	24.0	A	A
21	消費者保護対策の推進	23.0	A	A
22	交通安全対策の推進	23.0	A	A
23	高齢者福祉の充実	22.0	A	A
24	障害者福祉の充実	23.0	A	A
25	地域福祉の充実	13.0	B	B
26	地域保健の充実	22.0	A	A
27	人権尊重社会の実現	22.0	A	A
28	男女共同参画社会の実現	17.0	B	B
29	子どもの感性の育成	20.6	A	A
30	学校教育の充実	21.6	A	A
31	子育て支援の推進	19.8	A	A
32	芸術文化活動等の推進	18.2	B	B
33	国際交流の推進	16.0	B	B
34	スポーツ・レクリエーション活動の振興	18.0	B	B
35	情報の発信と地域情報化の推進	24.0	A	A
36	市民参画の促進	15.0	B	B
37	市民活動団体の支援・充実	17.0	B	B
38	協働事業の推進	17.0	B	B
39	コミュニティ活動の活性化	20.0	A	A
40	定員管理の適正化と人材育成	21.0	A	A
41	電子自治体の推進	22.0	A	A
合 計		802.1	A(25)、B(16)、C(0)、D(0)	
平 均		19.5		

<判定方法・手順>

◆手順1：成果指標の採点

施策に設定している成果指標について、基準値・目標値・実績値を比較し、委員各自が指標ごとに下記の採点基準表に沿って採点した。採点したものを持ち寄り集計し、施策の進捗度について最終的な判定を行った。

【採点基準表】

分類	指標の点数
予定どおり（以上に）進捗している	3点
やや遅れている（現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる）	2点
かなり遅れており、改善が必要である	1点
成果が現われておらず、抜本的な手法の見直しが必要である	0点

※市民アンケート調査にもとづく指標等、現時点で実績値が得られていないものについては、採点から除外した。

※施策内の指標すべてにおいて実績値が得られていない場合には、施策を構成する事務事業の進捗の度合いから判断し、施策そのものについて採点した。

◆手順2：点数の集計と判定

点数の集計については、下記の要領で行った。

- ・委員1人が採点したものについて、施策単位で点数を合計し平均点を算出  
(指標の点数の合計÷指標の数=指標の平均点)
- ・施策ごとに委員全員（8名）の平均点数を合計  
(指標の平均点を委員8名で合計=施策の点数)
- ・施策の点数をもって、次の判定表から進捗度についてAからDの判定

【判定表】

施策の点数	判定
19点以上	A
19点未満 13点以上	B
13点未満 7点以上	C
7点未満	D

## (2) 施策・事務事業に関する意見・提言等

1 次評価の結果を参考にしつつ、特に次の視点に主眼をおいて評価し、各委員が意見を述べ、また必要な提言を行った。委員から出された様々な意見等を会議において集約し、施策・事務事業に関するものについては、1 施策 1 シートとして整理するとともに、行政活動全般や行政評価の内容・手法等については、「その他全般にわたる意見」としてとりまとめることとした。(別添「施策・事務事業に関する意見・提言等」のとおり)

### ◆施策レベルでの視点

区 分	評価の視点
施策の進捗度、成果指標について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施策の進捗状況はどうか。</li><li>・ 適正な成果指標が用いられているか。</li><li>・ 成果指標の目標値は妥当か。</li></ul>
施策を進める手段等について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在実施している事務事業は施策を進める上で必要か、貢献度は高いか。</li><li>・ 現在実施している事務事業以外に有効な手法はないか。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施策をとりまく社会環境から、助言や留意する点はないか。</li></ul>

### ◆事務事業レベルでの視点

区 分	評価の視点
市民のニーズについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当該事務事業について、市民のニーズは高いか。</li><li>・ 当該事務事業は、市民の視点に立って実施されているか。</li></ul>
手法の妥当性・提案について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在行われている手法は妥当か。(コストと成果、受益と負担、実施手順等)</li><li>・ 新たに取り入れるべき手法はないか。(さらに効率的な手法、市民との協働により実施する手法等)</li></ul>
今後のあり方・方向性について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業の目指すべき方向、展開方針は妥当か。(事業の拡大・縮小・廃止、民間活力の導入等)</li></ul>
その他の意見・留意事項等について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業を実施する上で特に留意する点等はないか。</li></ul>

### 3. 行政評価委員会について

#### (1) 行政評価委員会の開催経過

本委員会は、平成20年6月27日に設置され、計5回の会議を開催した。

会 議	開催日	内 容
第1回	平成20年6月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の委嘱</li> <li>委員長、副委員長の選任</li> <li>丸亀市行政評価委員会の運営について協議</li> <li>丸亀市行政評価委員会による評価の内容・手順等について協議</li> </ul>
第2回	平成20年7月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策・事務事業等の内容調査（所管課の回答書をもとに質疑応答）</li> <li>今後の評価作業について確認</li> </ul>
第3回	平成20年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策の進捗度について評価</li> <li>施策・事務事業等に関する意見の集約</li> </ul>
第4回	平成20年8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策・事務事業等に関する意見・提言について協議</li> <li>報告書の作成について協議</li> </ul>
第5回	平成20年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書（案）について協議・確認</li> </ul>

#### (2) 丸亀市行政評価委員会委員

（平成20年8月現在）

区 分	氏 名	所 属
委員長	田 中 豊	香川大学大学院地域マネジメント研究科 教授
副委員長	溝 渕 由 美 子	公募委員
委 員	石 原 茂	公募委員
委 員	岡 千 枝	税理士
委 員	河 田 博 之	公募委員
委 員	柴 田 潤 子	香川大学大学院連合法務研究科 准教授
委 員	長 尾 正 美	公募委員
委 員	三 宅 耕 三	香川短期大学経営情報学科 特任教授



## 施策・事務事業に関する意見・提言等

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る				
政策目標	-1 地球の未来を思い、多様な自然を尊重するまち				
施策目標	-1-1 環境への負荷の少ない暮らしや事業活動が行われている				
施策番号	1	施策名	地球温暖化の防止	関係部署	生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言	
<b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b>	
<b>(施策を進める手段等に関する意見)</b>	
<p>・住宅用太陽光発電システムの補助制度が廃止された以上、「エコファミリー事業」のような取組が重要となってくる。そういう意味においては、エコファミリー事業の目標値の設定が低いと考える。飯山南、城乾コミュニティだけではなく、全コミュニティ・婦人会・学校・子ども会等にまで運動を広げるべきである。</p> <p>・国の「100万人キャンドルナイト」のような企画を、月1回でも実施すれば、随分電力消費が減ると思われる。</p> <p>・マイカーによる通勤・通学の機会を減らすなど、CO2削減のライフスタイルのよさを普及啓発することが必要である。</p>	
<b>(その他)</b>	
<p>・10年前は太陽光発電システムの設置のための補助金が多く見られたが、最近少なくなった。補助金は少なくなったが、地球温暖化に向けて意識を持つ世帯が増えたことは良かったと思う。</p>	

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
1	<p><b>(住宅用太陽光発電システム)</b> 【手法の妥当性・提案】</p> <p>・住宅用太陽光発電システム導入の補助が継続されることを望む。そうでなければ目標値達成は難しいと思う。</p> <p>・太陽光発電の補助制度実現に向け、執行部は要望書・議会にあっては意見書の提出を望む。</p>	生活環境部 環境課
2	<p><b>(エコファミリー推進事業)</b> 【今後のあり方・方向性】</p> <p>・対象が全市民とあるが、指標の目標値が2団体400世帯では設定が小さすぎるのではないかと考える。啓発対象をコミュニティ組織だけにこだわらず、小中学校や婦人会など各種団体に向けても推進し、個々の市民が日常的に取り組むことが最も効果的であると考える。</p> <p>・学校とタイアップした環境学習の一環として、エコファミリー事業を拡大することも可能ではないか。</p>	生活環境部 環境課

## 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る				
政策目標	-1 地球の未来を思い、多様な自然を尊重するまち				
施策目標	-1-1 環境への負荷の少ない暮らしや事業活動が行われている				
施策番号	2	施策名	循環型社会の構築	関係部署	生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

### 施策に関する意見・提言

<b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b>	
<b>(施策を進める手段等に関する意見)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集業務については、民間委託の利点を活かし、基本的には全面委託の方向で検討すべきである。ただし、その際、災害発生時をはじめ緊急時の対応には十分配慮して、委託のあり方については予め十分に検討しておくべきである。また、市民と業者とのトラブルや市民からの苦情・要望などに対応できるよう、市において窓口を設置するなど、委託の実施状況については市が責任を持って管理することが必要である。</li> <li>・事業所などの包装を簡素にするなど、ゴミの総量を減らすための取組を推進してほしい。</li> <li>・資源ごみの効率的再利用がなされているかどうか疑問に思われる。財政面や施設の整備、分別処理機能、地球温暖化対策など、再度見直しが必要ではないか。</li> <li>・循環型社会の意識を醸成する意味においても、回収した資源ごみの還元金やその用途については、積極的に市民にPRすべきと考える。</li> </ul>	
<b>(その他)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各イベント会場にごみの分別箱を設置していることは良いことである。</li> </ul>	

### 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
3	<p><b>(生ごみ処理容器等設置補助事業)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報毎号にPR記事を掲載する。</li> <li>・エコファミリー事業推進の一環として、食材から廃棄量を少なくする料理の工夫や、食べ残しをしない食事のあり方など、ともに努力できるように進めてほしい。</li> <li>・団地などで生ごみ処理容器等設置補助は必要と思うが、農家などでは、生ごみ堆肥の無臭化などを組合せての推進をすべきと考える。</li> </ul>	生活環境部 クリーン課

# 評価結果表

## 総合計画の体系

政策の柱	身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る				
政策目標	-1 地球の未来を思い、多様な自然を尊重するまち				
施策目標	-1-2 豊かな自然のなかに、ふれ合いの場が整備されている				
施策番号	3	施策名	自然環境の保全と活用	関係部署	都市経済部 教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

## 施策に関する意見・提言

(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・県内で唯一の1級河川土器川と県下の名山の讃岐富士、いずれも身近な場所であるが故、自然環境の教材・健康づくりの場として、丸亀市として総合的な施策が展開できるよう望む。
(その他) ・環境省も今年度から「里海創生支援」に乗り出した。瀬戸内海を、多様な魚介類が生息し、人々がその恵沢を将来にわたり享受できる豊饒の海に再生させるために、沿岸の市町や、海に流れ込む川の上流の市町とも連携した取り組みが必要だと思う。 ・丸亀市では、「丸亀市まちをきれいにする条例」を定め、生活環境保全の方策の一つとして、たばこの吸殻のポイ捨て禁止を規定しているが、実際には、これについてのキャンペーンや啓発活動等具体的な運動がほとんど行われていないように思われる。そこで、新たな方策として「路上喫煙禁止条例」を定め、一定区域内での喫煙を禁止するなど、市民のマナーの向上と丸亀市のイメージアップを図ることを提案する。

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
7	(土器川生物公園整備事業) 【市民のニーズ】 ・土器川生物公園の活用率は低いと考える。各団体に広報して自然との対話をもつよう啓発する必要がある。 ・子どもたちが自然と生き物に触れ合える場としての活用をお願いしたい。 【今後のあり方・方向性】 ・利用者の伸び悩みからみて休廃止は妥当である。 ・土器川生物公園での行事など事前・事後のPRをして利用者数の増加と併せて自然環境の保全の大切さを学ぶよう推進すべきである。	都市経済部 都市計画課
8	(野外活動センター整備事業) 【手法の妥当性・提案】 ・仮設駐車場の整備が必要である。	教育部 生涯学習課
9	(松くい虫防除事業) 【今後のあり方・方向性】 ・可能なかぎり、松くい虫の防除をすることが望ましい。	都市経済部 農林水産課

## 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る				
政策目標	-2 まちの歴史・文化を学び、未来に伝えるまち				
施策目標	-2-1 歴史的遺産の価値が理解され、守られている				
施策番号	4	施策名	歴史的景観の保全	関係部署	教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・「まち並み保存推進事業」「笠島伝統的建造物群保存修理事業」「文化財保護事業」は関連性があると思われるので、一体的な運営に努め、見学者数の増加を図るべきである。
(その他) ・今の時代は伝統的な建物を見て、やすらぎ感を求める傾向があるので、歴史的景観を保全することは重要な施策である。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
11	(まち並保存推進事業) 【今後のあり方・方向性】 ・もっと全国的にアピールし、丸亀市の発展につなげたい。	教育部 文化課

## 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る				
政策目標	-2 まちの歴史・文化を学び、未来に伝えるまち				
施策目標	-2-1 歴史的遺産の価値が理解され、守られている				
施策番号	5	施策名	文化財の保護	関係部署	教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

### 施策に関する意見・提言

<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀城、快天山古墳については、ほぼ予定どおりと考えるが、城山(西長尾城)は連郭式山城として貴重な文化財であり、早急に対策を講じなければ、崩落の危険がある。</li> <li>・全国的に見ても、丸亀城はきれいに保存されていると感じる。丸亀城をもっと全国的にPRし、旅行ツアーの中に丸亀城散策が組み込まれるくらいの知名度アップが望まれる。他の地方で他県の人にとこから来たかと言われたとき「香川県丸亀市」と答えると「丸亀城ってきれいね。」とよく言われる。こうした本市の魅力をもっと生かすべきである。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の文化財めぐり等を企画し、年間を通じコミュニティバスを活用した施策に取り組み、見学者の増加と貴重な文化財の保護意識を醸成すべきである。</li> </ul>
<p><b>(その他)</b></p>

### 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
14	<p><b>(埋蔵文化財調査事業)</b>  <b>【市民のニーズ】</b>                      ・文化財の調査現場を多くの市民に公開する方策を講じるべきである。  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・未刊の報告書36冊を計画的に作成すべきである。</p>	教育部 文化課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	- 1 日常生活が便利で快適なまち				
施策目標	-1-1 地域特性を活かした土地利用により、良好な生活空間が築かれている				
施策番号	6	施策名	適正な土地利用と市街地の整備	関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b>            ・指標「適正な土地利用、市街地整備ができていると考える市民の割合」の目標値が少し低いのではないか。</p>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b>            ・本市には「丸亀市都市景観条例」を定められているが、特に中心市街地を見る限り残念ながら成果が見られず、条例が生かされていないと思われる。平成21年度策定予定の景観計画に期待すると同時に、早急に具体的な取組が必要であると思われる。</p>
<p><b>(その他)</b>            ・大型郊外型ショッピングセンターの建設があいついで、既存のショッピングセンターが休店に追い込まれるところもある。その跡地の利用についても景観に注視していただきたい。</p>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
18	<p><b>(景観計画策定事業)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b>            ・「私の好きな丸亀の景観、残したい景観」景観写真展を継続して開催すべきである。高層のマンション建築があいついでおり、景観が損なわれないよう配慮していただきたい。            ・景観計画策定業務委託は妥当であり、今後も計画策定等については業者(第三者)の視点を取り入れるべきである。</p>	都市経済部 都市計画課
19	<p><b>(中心市街地活性化事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>            ・駅前C地区再開発事業の廃止は残念でならない。C地区の商店、住民の協力と理解を得ながら官民一体となって、新たな民間活力を導入する方策が必要である。(当該地区は、丸亀市の玄関であり、顔である。)  <b>【手法の妥当性・提案】</b>            ・中心市街地は無料駐車場の確保がなければ集客できにくいのではないか。</p>	都市経済部 都市計画課



# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	- 1 日常生活が便利で快適なまち				
施策目標	-1-1 地域特性を活かした土地利用により、良好な生活空間が築かれている				
施策番号	7	施策名	住宅・住空間の整備	関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標「土地区画整理整備済面積」は、実績値と目標値との差が大きい。</li> <li>・成果指標「市営住宅改修済戸数」は目標に向かって順調に進んでいると思える。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p>
<p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理の遅れは、経済環境の変化もありやむをえない面がある。</li> </ul>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
20	<p><b>(土地区画整理事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・地元の区画整理組合と市の連携により事業の早期完了を望む。</p>	都市経済部 都市計画課



## 評価結果表

総合計画の体系			
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る		
政策目標	- 1 日常生活が便利で快適なまち		
施策目標	-1-1 地域特性を活かした土地利用により、良好な生活空間が築かれている		
施策番号	8	施策名	公園の整備
		関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

### 施策に関する意見・提言

<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定通りの箇所もあればかなり遅れているところもあると思われる。旧丸亀市内はほぼ完備されたが、今後、綾歌・飯山地区については時間はかかっても予算の範囲で進める必要がある。その際には、住民に事前説明をしっかりとる必要がある。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具の管理・補修なども推進していただきたい。</li> <li>・公園をより多くの市民が気持ちよく使えるために、バリアフリー化を進める必要があるのではないか。</li> </ul>
<p><b>(その他)</b></p>

### 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
23	<p><b>(市民ひろば整備事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・今後の市民ひろばの活用計画をたて、有効利用していただきたい。</p>	都市経済部 都市計画課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	Ⅱ 日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	Ⅱ-1 日常生活が便利で快適なまち				
施策目標	Ⅱ-1-2 公共交通機関や道路が整備され、安全で便利な生活ができる				
施策番号	9	施策名	公共交通の整備	関係部署	生活環境部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標「コミュニティバスの年間乗車人数」の数値は向上しておらず、地方都市(田園都市)における公共交通機関とは何かを再検討すべき時期にきていると考える。</li> <li>・コミュニティバスの路線等を見直したにもかかわらず、平成19年度の乗車人数は平成18年度より減少している。減少した原因を十分に分析し、交通弱者対策上必要・適切な事業展開を望む。</li> <li>・公共交通の整備は、特に飯山・綾歌地区において高齢化が進むことを考えれば、急がれる問題である。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p>
<p><b>(その他)</b></p>

事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
25	<p><b>(コミュニティバス等運行事業)</b>  <b>【市民のニーズ】</b>            ・コミュニティバスについては、常々真の市民ニーズを把握しながら、利用者の利便性とコスト計算により見直していくべきである。            ・コースダイヤの変更等、いろいろ工夫されているが、市民の要望も多様化し難しい問題であると考え。コミュニティバスの仕様を見直し、座席の配置を変更して、自転車・手押し車等の持込を可能にすることで、より利用しやすくなるのではないか。            ・市関係の主催行事などでコミュニティバスの利用促進を図るべきである。また、利用者の少ない時間帯の便数の減などの検討も必要ではないか。            ・最終時刻の延長を望む。            ・コースをわかりやすく表示するとともに、乗客の多いコースは一日の本数を増やすなどの検討が必要ではないか。            ・コミュニティバスのPRが不十分で、お年寄りがよくわからないという意見が多く聞こえる。</p> <p><b>【手法の妥当性・提案】</b>            ・乗車人数を増加する目標値の達成どころか、現在の乗車人数すらどんどん下回っている状況は誠に残念である。PRや利用促進の強化も結構であるが、沿線住民が十分な問題意識もないまま、ずるずると利用者が減り、ある時、急に廃止論議となり、大騒ぎということになりかねない。そうならないように、日頃どの程度の人数が利用しているのか、あるいは、どの程度の税金が投入されているのかなどのデータを常にオープンにすることはもとより、予め、大きな路線ごとに、利用者数が一定数以下となれば廃止することを決めて、公表しておくような方式を検討していくべきと考える。具体的には、例えば三豊市などが実施している維持基準を設定するやり方なども真剣に検討すべき。つまり、こういう方式こそが、一定の危機意識のもと、地元で愛され、できるだけ沿線の人が利用しようという機運の醸成にもつながるのではないかと考えるからである。            ・社会的弱者の公共交通機関の必要性は認識できる。とは言え、毎年一億円以上の支出は市民感情として許されるものではない。極端に悪い路線は廃止すべきである。その代替として「タクシー割引券」(年間枚数を制限)等の発行も視野に入れるべきである。その場合、高等教育を受けている学生は社会的弱者とは言い難いので除外する。もうひとつは、公共交通機関といえども社会福祉施策ではない。利益を受ける者が一定の費用を負担する「受益者負担の原則」は公平性からみて必要である。            ・コミュニティバス運行に対する補助金を市民に公表して原価意識の高揚に努めるべきである。            ・朝夕を除き、ほとんどが空車走行している。PRの強化と利用促進策として次の事項を提案する。            ①イベント会場へのシャトル運行 ②手荷物、許可申請して貨物のルート配達など</p>	生活環境部 生活課
26	<p><b>(離島振興)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>            ・離島航路については、その島に共同生活がある限り、便数が減ったとしても航路は維持することが望ましい。ただし、税金は無限ではないので、補助金の限度額を設定し、利用状況やコストのデータを常にオープンにするなど、住民の理解を得るなかで必要最小限の運行とするべきである。また、コミュニティバスと同様、「受益者負担」の原則が避けられないことは自明である。            ・離島航路の便数については、市内の医療機関に通院できる範囲を最低便数とするなどを考えてみてはどうか。</p>	生活環境部 生活課

# 評価結果表

総合計画の体系			
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る		
政策目標	- 1 日常生活が便利で快適なまち		
施策目標	-1-2 公共交通機関や道路が整備され、安全で便利な生活ができる		
施策番号	10	施策名	道路の整備
		関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標「市道整備延長」の実績は市民の立場からすれば、若干不満ではあるが、財政上からみると妥当である。</li> <li>・生活道路については、ほぼ整備されていると思われるので、優先順位をつけて整備することが重要である。</li> <li>・道路の整備は従来から十分に実施されてきており、またバリアフリー化にも限界がある。より限定的に行うべきである。</li> <li>・一次評価のB(やや遅れている)は感じ取れるが、整備されているにもかかわらずさらに工事するといったような無駄な経費は削減されていると感じる。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備なくしてまちの発展はあり得ないと考える。県下全域の問題でもあるが、南北道の整備が急がれる。</li> <li>・丸亀市の一体的な発展のためには、旧丸亀市と旧綾歌町や旧飯山町への幹線道路の整備が必要ではないか。</li> </ul>
<p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の道路については、住民の意見をよく聴いて整備していただきたい。</li> </ul>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
29	<p><b>(市道幹線道路整備事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・南北道の主要幹線道路の整備は、本市だけの問題ではなく、「仲多度南部～徳島」「高知」「岡山～山陰」との交流促進の為にも重要である。</p>	都市経済部 建設課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	- 1 日常生活が便利で快適なまち				
施策目標	-1-3 上下水道が整備され、快適で文化的な生活ができる				
施策番号	11	施策名	上水道の整備	関係部署	上下水道部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・ 湯水時の飲料水などの確保の方策を立て、整備を進めていただきたい。
(その他) ・ ライフラインの整備は必要である。 ・ 災害に強く安全な水を確保という言葉に安心感を感じる。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
37	<p>(自己水源開発事業) 【その他の意見・留意事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民プールの休止は残念である。JR丸亀駅前の噴水の廃止もどうにかならなかったのかと、心豊かな人づくり、生きがいを感じるまちが遠のく感じがする。それだけに自己水源開発事業の推進は重要である。</li> <li>・ 安全供給できるよう、常に整備をしておく必要がある。</li> <li>・ 新たな水源確保について、深井戸の掘削、休止井戸の整備も必要であるが、温暖化による気象の変化、早明浦ダムの現状を考えると、三豊市山本町に整備された香川用水調整池規模の水源確保を市としても考えるべきではないか。国、県に積極的に働きかけて思い切った対策を講じなければならないと考える。</li> </ul>	上下水道部 上水道課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	- 1 日常生活が便利で快適なまち				
施策目標	-1-3 上下水道が整備され、快適で文化的な生活ができる				
施策番号	12	施策名	生活排水処理施設の整備	関係部署	上下水道部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

## 施策に関する意見・提言

<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <p>・下水道整備には多額の費用を要するため、整備にあたっては、受益者の多い地区を優先するなど、優先順位を設定して計画的に進める必要がある。</p>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <p>・下水道の整備は利用を前提に行われているはず。公共下水道で1割近く、農業集落排水施設で3割近くの人が、未接続であることは、事業の経営上あるいは接続している他の利用者との負担との関係でも、深刻に受け止めるべき問題。従来どおりの取り組みを従来どおりにやるということではなく、是非様々な工夫も検討しながら、未接続解消に向け部・課を挙げて、全力で取り組むことが必要ではないかと考える。</p> <p>・地域により水洗化率に格差があるので、是正されるよう努力していただきたい。</p>
<p><b>(その他)</b></p>

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	-2 活力とにぎわいに満ちたまち				
施策目標	-2-1 地域産業が活発で、身近に働く場がある				
施策番号	13	施策名	農林水産業の振興	関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・「担い手経営活性化事業」、「農業経営支援確立事業」、「園芸特産物振興対策事業」等は一体的に取り組み、相乗効果が期待できると思われるので、JAなどと連携して強力に推進すべきと考える。
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
45	(担い手経営活性化事業) 【手法の妥当性・提案】 ・JA香川県の推進する「1支店1農場」構想の実現に更なる支援が必要と考える。	都市経済部 農林水産課
48	(農業経営支援確立事業) 【手法の妥当性・提案】 ・地産地消を推進するとすれば、認定農業者を増加させる努力が必要である。	都市経済部 農林水産課
51	(重要稚仔放流事業) 【今後のあり方・方向性】 ・効果が大きいとすれば、今後費用の増加はやむをえないと考える。	都市経済部 農林水産課



## 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る				
政策目標	-2 活力とにぎわいに満ちたまち				
施策目標	-2-1 地域産業が活発で、身近に働く場がある				
施策番号	14	施策名	商工業と観光の振興	関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スペース114」「秋寅の館」等により、賑わいを取り戻すなど実績もあるのだから、具体的に行動することが大事である。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前C地区再開発事業の廃止は残念である。地元商店街、関係諸団体が一致協力し、知恵を出し合い工夫し、行政と連携を取りながら、問題の解決が望まれる。</li> <li>・うどんツアーだけでなく、ニューレオマワールドや中津万象園を訪れる観光対策が必要である。</li> <li>・市民や消費者が何を求めているのかの視点が欠けている。現実に即した対策にお金を使うべきである。</li> <li>・商店街の活性化の意味がよく伝わらない。既得権益の保護とならないよう実施する必要もあるのではないか。</li> </ul>
<p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洞爺湖サミット会場でのうちの展示は、丸亀市をアピールできたという点でとても良かったと思われる。</li> </ul>



事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
55	<p><b>(スペース114運営事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・「スペース114運営事業」は有効な事業であると考えているが、大型店舗の進出の影響で商店街の振興が進んでいない。  <b>【その他の意見・留意事項等】</b>                      ・商店街復興を願って、これまでも各地で多くの取組がなされてきたが、残念ながら成功例は稀である。自然発生した商店街が衰退し、人工モールが繁栄するのは科学であり、消費者の力である。このような観点からみると、商店街活性化のシナリオは容易ではないと考える。</p>	都市経済部 商工観光課
56	<p><b>(商工会議所運営等補助事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・TMOの趣旨は理解できるが、丸亀市の市場規模、小売店舗数、売場面積等からみて、出口に光が見えるのか疑問である。</p>	都市経済部 商工観光課
57	<p><b>(商店街振興事業)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b>                      ・郊外型大型店舗も飽和状態と思われる。中心市街地への来街者数増加のためコミュニティバスの利用や市内特産物の販売などを組み合わせるなど実施すべきではないか。                      ・昔のように土曜デーなどの商店街の活性化ができるイベントを望む。</p>	都市経済部 商工観光課
58	<p><b>(地場産業振興事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・うちわの港ミュージアムでは、若手の伝統工芸伝授者が活動しているのは心強い。ただ、植栽やプランターの整備など外観美化にも心がけていただきたい。</p>	都市経済部 商工観光課
60	<p><b>(観光振興事業)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b>                      ・丸亀骨付き鳥を全国へ向けて本格的に売り出すのであれば、今や、メジャーな存在となりつつある「B級ご当地グルメの祭典(いわゆるB-1グランプリ)」に出展することを今後検討してみてもどうか。</p>	都市経済部 商工観光課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る			
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち			
施策目標	-1-1 公共施設に十分な耐震性があり、地域の防災性が保たれている			
施策番号	15	施策名	建物の耐震化の推進	関係部署 健康福祉部 教育部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早期の耐震化を望む。</li> <li>・小中学校の耐震改修については、財政状況からみると、この進捗状況でも仕方ないと思う。</li> <li>・学校施設の耐震診断が100%となったことは評価できる。今後の耐震化の進展を望む。</li> <li>・小中学校に比べ、幼稚園・保育所施設の耐震補強が遅れているのではないか。</li> <li>・成果指標「市民体育館の耐震改修進捗率」はもう少し実績値を上げる必要がある。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難施設である市民体育館は優先改修すべきと考える。国・県への要望も必要ではないか。</li> </ul>
<p><b>(その他)</b></p>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
65	<p><b>(市民体育館整備事業)</b> 【今後のあり方・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早い時期に予算を計上すべきである。</li> </ul>	教育部 生涯学習課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち				
施策目標	-1-1 公共施設に十分な耐震性があり、地域の防災性が保たれている				
施策番号	16	施策名	港湾施設の耐震化と高潮対策	関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災上、早急に指標の目標値達成を目指していただきたい。</li> <li>・異常気象が続いているので、かつての台風災害がまたいつ起こることも限らない。付近の住民を守る施策を進めていただきたい。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p>
<p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が各地で発生している現在、重要な対策である。</li> </ul>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち				
施策目標	-1-1 公共施設に十分な耐震性があり、地域の防災性が保たれている				
施策番号	17	施策名	河川、排水路、急傾斜地等の改修	関係部署	都市経済部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

## 施策に関する意見・提言

<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標「急傾斜地崩壊危険区域」については、目標値に向かって進捗しているが、排水路の整備は少し遅れ気味ではないか。</li> <li>・綾歌森林公園は都市公園となっており、土地は市有地であるために国・県補助を活用することは困難であるとのことだが、当地の現状から、治山・急傾斜崩壊防止対策等を講じるべきではないか。</li> <li>・大束川水系の改修については、県に要望し、特に整備が急がれる。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p>
<p><b>(その他)</b></p>

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち				
施策目標	-1-1 公共施設に十分な耐震性があり、地域の防災性が保たれている				
施策番号	18	施策名	消防・防災体制の整備	関係部署	消防本部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) 行政の防災体制が不十分であると感じる。危機管理課の陣容、部の担当者の配置、会議・関係資料、マニュアルの作成等、卓上の対策になっており、「市民一人ひとり」と「市職員」(特に消防本部危機管理課を併任する職員)の防災意識の向上が最も大事で、内容ある研修・訓練が必要と考える。
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
71	(消防本部庁舎等整備事業) 【その他の意見・留意事項等】 ・新消防庁舎の建築にあたっては、特に付近の学校に通う子どもの交通安全などに注意していただきたい。	消防本部 総務課
73	(綾歌・飯山地区消火栓整備事業) 【今後のあり方・方向性】 ・人家が連坦していない地区で、常時使用できる消防水利について、防火水槽又は消火栓の早急な整備を望む。	消防本部 防災課
76	(防災行政無線整備事業) 【その他の意見・留意事項等】 ・正確な情報伝達は防災活動の基本であるが、個人情報保護から、現状では詳細な情報を得にくい。国に改善を要望すべきではないか。	消防本部 危機管理課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち				
施策目標	-1-2 防災・救急体制が整っている				
施策番号	19	施策名	救急・救命体制の強化	関係部署	消防本部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・AEDの設置場所の一覧表を各所に掲示して市民への周知を図る必要がある。
(その他) ・応急手当普及講習を受けた市民が急増していることは、それだけ市民の関心が高いということである。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
78	(救急救命士養成事業) 【手法の妥当性・提案】 ・医師不足の折、救急救命士については増員に努めるべきある。 ・救急救命士の有資格者を優先採用すべきではないか。	消防本部 総務課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る			
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち			
施策目標	-1-3 事故・犯罪の発生しにくい安全・安心なまちである			
施策番号	20	施策名	防犯対策の推進	関係部署 健康福祉部 生活環境部 教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロール隊を結成することが目的ではなく、どうすればパトロール隊を解散できるかを考えるべきである。社会を構成している青少年、大人のモラルの醸成が必要である。</li> <li>・無理のないかたちで、地域から見守り活動が継続していけるよう望む。</li> </ul>
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
82	<p><b>(防犯対策事業)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b>                      ・行政とコミュニティ、市民団体等の協働で取り組む課題であると考え。  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・指標「月1回以上活動を行っている地域団体数」の防犯活動月1回以上を月2, 3回に増やすべきではないか。  <b>【その他の意見・留意事項等】</b>                      ・意味のないチラシ、ポスターが多すぎるのではないか。</p>	生活環境部 生活課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る			
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち			
施策目標	-1-3 事故・犯罪の発生しにくい安全・安心なまちである			
施策番号	21	施策名	消費者保護対策の推進	関係部署
				生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、啓発活動を活発にして、市民の消費者セミナーへの参加を促す対策が必要である。</li> <li>・消費者セミナーを通じて、消費者に理解してもらうことが望まれる。</li> <li>・消費者セミナーなどは参加者が固定化しているくらいがある。</li> <li>・携帯電話を使用して様々な支払いが可能となっており、中高生、大学生にも消費生活の安全に対する心構えを伝授する必要がある。</li> <li>・高齢者を狙った詐欺などに対策が必要である。</li> <li>・地球温暖化対策など環境問題や省資源対策など老若男女が参加する事業展開が必要ではないか。</li> </ul>
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
83	<p>(消費者行政事業)</p> <p>【手法の妥当性・提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者セミナーのアピールの機会を多くしてほしい。</li> </ul> <p>【その他の意見・留意事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を呼んでの研修の際には、事前に講義内容について十分に打ち合わせをし、内容に応じた謝金等を支払うべきと考える。</li> </ul>	生活環境部 生活課



## 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-1 災害や犯罪から人や地域をまもるまち				
施策目標	-1-3 事故・犯罪の発生しにくい安全・安心なまちである				
施策番号	22	施策名	交通安全対策の推進	関係部署	生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・今年度から自転車の乗り方のルールが変更になっている。自転車の安全運転について、幼児や学生なども対象に広く指導することが必要である。 ・社会を構成している青少年、大人のモラルの醸成が必要である。
(その他) ・子供たちといっしょに実施するキャンペーンが多くなったように思える。。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
84	(交通安全対策事業) 【手法の妥当性・提案】 ・事故現場跡に必ず「ここ事故あり」の掲示を6ヶ月間行い、安全の啓発をすべきである。	生活環境部 生活課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-2 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち				
施策目標	-2-1 高齢者・障害者が健康で安心して生活できる				
施策番号	23	施策名	高齢者福祉の充実	関係部署	健康福祉部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言	
(進捗度、成果指標に関する意見)	
(施策を進める手段等に関する意見) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「後期高齢者医療制度」「年金制度」など、変化に対応できるように窓口相談の充実を望む。</li> <li>・高齢者福祉施策はいずれの事業も関連性があることから、健康な時から各種事業に参加してもらうよう健康保持の事業との組合せを望む。</li> </ul>	
(その他)	

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
93	<b>(老人保護措置)</b> <b>【手法の妥当性・提案】</b> ・現状からみて、コスト増はやむをえないが、入所の基準を明確にし、公平性の確保が重要である。	健康福祉部 福祉課
94	<b>(老人生きがい対策事業)</b> <b>【手法の妥当性・提案】</b> ・75歳以上の高齢者が10%を越えるなかで、敬老祝金、記念品等は必要か検討すべきである。老人生きがい対策事業の敬老祝い金等について、市は今後も継続実施するという考えである。この根拠は平成15年度(旧丸亀市)の市民調査である。5年前と今日では老人人口、経済状況、市の財政状況等の差は大きい。市の財政が健全ならば、敬老祝い金等の支給を続けるべきである。この際、再度アンケートをとり、直近の民意を聞き、今後も続けるべきか判断していただきたい。 ・個人へのパラマキ的なものは、もはや見直すべき時期にきていると考える。	健康福祉部 福祉課

# 評価結果表

総合計画の体系			
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る		
政策目標	-2 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち		
施策目標	-2-1 高齢者・障害者が健康で安心して生活できる		
施策番号	24	施策名	障害者福祉の充実
		関係部署	健康福祉部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・障害者のより社会への進出を促進すべき施策が求められる。事業会社で障害者の雇用状況、割合を高められるような施策が必要である。
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る				
政策目標	-2 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち				
施策目標	-2-2 市民がともに支え合い、地域の保健・福祉が充実している				
施策番号	25	施策名	地域福祉の充実	関係部署	健康福祉部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
106	<p><b>(福祉保健推進委員見守り事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性について】</b>            ・一人暮らしをする高齢者への巡回など地域での見守りは、今後ますます重要になってくると思われるが、本事業自体には多くの課題が見受けられ、抜本的な見直しが必要と考える。            主なものとしては次のとおりである。            そもそも近所の人や地域コミュニティ、ボランティア・NPO法人といった各種団体、そして行政が地域での見守りにどう携わっていくかについて十分な検討が必要である。            多くの団体から千人以上にも及んで大量に委員を委嘱しているが、その職務や活動内容が非常に抽象的で、実態も十分に伴っておらず、責任や役割も不明確であるなど、現在の事業形態が適当であるかについて再考が必要である。            活動内容を広く市民にわかりやすく伝える方策はいずれにしても必要であり、コミュニティ単位で委員の一覧を作成するなどの工夫や、また制度の普及にあたっては、コミュニティ組織を介して行うばかりではなく、たとえば、老人クラブの事業の一つである「友愛活動」など他の分野とも連携した取組についても考える必要がある。            制度の内容が想像できるようなネーミングについても検討が必要である。</p>	健康福祉部 福祉課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る			
政策目標	-2 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち			
施策目標	-2-2 市民がともに支え合い、地域の保健・福祉が充実している			
施策番号	26	施策名	地域保健の充実	関係部署 健康福祉部 生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・ハガキなどにより、サービスの案内をすることは、良いシステムである。
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
114	(育児等健康支援事業) 【手法の妥当性・提案】 ・母子保健推進委員による「子育て広場」など、公の場に出てこられず育児ノイローゼになっている母親への心配りなどができたらいいと思う。	健康福祉部 健康課
115	(児童ふれあい交流促進事業) 【手法の妥当性・提案】 ・講演という形態ではなく、相談窓口の充実の方が効果的ではないか。	健康福祉部 健康課
119	(特定健康診査事業) 【その他の意見・留意事項等】 ・特定健診業務を医師会等に委託する場合には、特定健診の趣旨・実施方法について周知徹底することはもとより、健診内容についても委託者として十分な点検を行っていただきたい。	生活環境部 保険課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る			
政策目標	-1 互いの人権を尊重し、個性と能力が発揮できるまち			
施策目標	-1-1 市民の人権が尊重されている			
施策番号	27	施策名	人権尊重社会の実現	関係部署
				生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・講演会の講師を、広い視野から人権を語ってくださる人を選ぶなど工夫し、幅広い年代の人に聴いてもらえるよう努力されていると感じる。 ・人権意識の醸成は、市役所のすべての部署が率先して取り組んでいただきたい。
(その他)

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る				
政策目標	-1 互いの人権を尊重し、個性と能力が発揮できるまち				
施策目標	-1-2 男女が対等に社会に参画し、ともにいきいきと暮らしている				
施策番号	28	施策名	男女共同参画社会の実現	関係部署	企画財政部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

## 施策に関する意見・提言

(進捗度、成果指標に関する意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次評価の判定はBとなっているが、現実には結構、女性が増えているように感じる。</li> </ul>
(施策を進める手段等に関する意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は「丸亀市男女共同参画推進条例」も施行された。まちづくりに男女が対等に参画でき、性別にかかわらずすべての市民が生き生きと暮らせるよう一層の啓発と施策が必要である。</li> <li>・推進事業関係者を増員するには、広報紙を使って周知啓発を徹底することが重要である。</li> <li>・市長が率先して女性の参画を求めているかどうか。</li> <li>・審議会等における女性の比率は、漸次向上させるのが現実的対応である。</li> <li>・女性の管理職を積極的に登用すべきである。</li> </ul>
(その他)	

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
126	<p><b>(男女の対等な参画推進事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・女性の感性、感覚を行政にもっと生かすべきである。同時に男女それぞれが「らしさ」を心がけることが男女共同参画社会の実現に最も重要であると考えられる。                      ・マクロで4割の目標達成を掲げる以上、その実現のためには、「関係課室にお願いしている」ということでは不十分であり、審議会等の数もせいぜい40強程度であり、個々の審議会等ごとに目標年次までにどの程度の女性を参画してもらおうようにするのかのマイクロベースでの目標設定及びその実現可能性も真剣に検討してみるべきである。</p> <p>ただし、マイクロベースで見れば、市がいくら参画してもらいたいと思っても、たとえば、「の組織の長にある者を委員とする。」などの審議会等(防災会議、国民保護協議会、水防会議等はじめかなりの数に及ぶ)においては、短期的には市の努力や工夫でどうすることもできないのであるから本来目標としてはなじみにくく、むしろ、市の努力や工夫で行える一般の審議会等において目標を設定し、真剣に女性の参画という観点から、推進されていくようにすべきではないかと思われる。</p> <p>なお、そうしないと、細かく計算したわけではないが、ざっと見たところ、今の一切の審議会を含むマイクロベースで4割の目標を達成するためには、一般の審議会等では、逆に「常に女性を男性より多くしましょう」というぐらいのやや過剰な目標設定になってしまっていないかも、気になるところである。</p>	企画財政部 企画課



# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る			
政策目標	-2 元気で心豊かな子どもたちが育つまち			
施策目標	-2-1 人に対するやさしさやマナー・豊かな感性が育っている			
施策番号	29	施策名	子どもの感性の育成	関係部署 教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b>            ・「丸亀市子ども読書活動推進計画」の進捗度を検証してほしい。</p>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b>            ・子供がよく本を保育所の先生から読んでもらって喜んでいるように、本の読み聞かせは、子供の教育では大切なことと考える。            ・市立図書館は生涯学習の中核的拠点である。市が責任を持って、まちづくりの中心にすえて運営してほしい。</p>
<p><b>(その他)</b></p>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
128	<p><b>(ブックスタート事業)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b>            ・ブックスタートの活動指標の「ボランティア登録者数」よりもブックスタートの効果がわかる指標にすべきではないか。例えば、3歳児健診時に聞き取り調査を行うなど、ブックスタートを実施した後の検証が必要である。</p>	教育部 図書館
130	<p><b>(少年教育事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>            ・指導者の育成が急務である。</p>	教育部 生涯学習課



# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る				
政策目標	-2 元気で心豊かな子どもたちが育つまち				
施策目標	-2-2 子どもたちの学習する環境が整っている				
施策番号	30	施策名	学校教育の充実	関係部署	教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

## 施策に関する意見・提言

(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
<p>・知識と社会的常識を身につけたバランスのとれた子どもを育てることが教育で最も重要である。学力調査を事業として挙げているが、近年モラルの低下、社会のルール、躰を考えると道德教育が大事であると考え。学校、家庭、社会が一体となって取り組む仕組みを作り、人の道、道德心を身につけることで、学力のアップも図られると考える。</p> <p>・文部科学省において、「教育振興基本計画」も策定され、「新学習指導要領」でも、知・徳・体バランスのとれた人格育成の大切さが述べられている。生きた学力を身につけるためにも、多様な物の見方、考え方に触れる事が大事。学校図書館の活用と、そのための学校司書の配置が、ますます増えていくことを望む。</p> <p>・特別支援教育が始まっている。県の巡回相談だけでは不足しているため、日常的にきめ細かく相談できる機会を増やすことが必要。軽度発達障害の子どもに対する配慮や教育についてなど、教員や保護者の定期的継続的研修が必要ではないか。</p>
(その他)

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
136	<p>(丸亀っこの食育推進事業)</p> <p>【今後のあり方・方向性】</p> <p>・地産地消推進、生産団体の組織数達成のため、関係機関の協力・支援を求め、「新学校給食センター新築移転整備事業」の給食開始までに食の安全・安心の実現を望む。</p>	教育部 学校給食センター

## 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る				
政策目標	-2 元気で心豊かな子どもたちが育つまち				
施策目標	-2-3 安心して子育てができる環境が整っている				
施策番号	31	施策名	子育て支援の推進	関係部署	健康福祉部 教育部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

### 施策に関する意見・提言

(進捗度、成果指標に関する意見)	・放課後留守家庭児童会の待機児童数ゼロは評価できる。コストが増加しても継続して欲しい。
(施策を進める手段等に関する意見)	・民間が実施している「つどいの広場」は、市の「地域子育て支援センター」より小規模だがアットホームな雰囲気、親も学び育っていける。多様な支援として是非、助成してほしい。
(その他)	・子どもの養育の責任は保護者にあるが、いろんな価値観や人々との触れ合いが大切。地域みんなで子どもを育て、また仕事と家庭の両立支援のためにも、子育て支援を推進していただきたい。

### 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
143	<b>(家庭教育事業)</b> <b>【その他の意見・留意事項等】</b> ・学習会講師への謝金は講義内容において適切かどうか。検証する必要がある。	教育部 生涯学習課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る			
政策目標	-3 市民が生きがいをもって暮らせるまち			
施策目標	-3-1 芸術・文化活動や人と人の交流を通じ、生きがいを感じている			
施策番号	32	施策名	芸術文化活動等の推進	関係部署 教育部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

## 施策に関する意見・提言

<b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b> ・指標「生涯学習人材バンクの登録者数」の数字は悪いが、行政というよりは、市民側の意識の問題であると考える。
<b>(施策を進める手段等に関する意見)</b> ・文化講座の参加者は市民の中でも特定の人という概念があるが、広くPRして市民の参加を増やす努力が必要である。
<b>(その他)</b>

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
147	<b>(市民講座)</b> 【手法の妥当性・提案】 ・講座場所については、旧綾歌町・旧飯山町でも開催し、その際にはコミュニティバスを利用しての参加を望む。	教育部 生涯学習課
148	<b>(図書館運営事業)</b> 【手法の妥当性・提案】 ・各図書館は自己管理の蔵書を公開し、利用者の要望に応えられるよう万全を期するべきである。また、図書館3館については、利用状況等実情に応じて職員を配置していただきたい。 ・市立図書館3館の利用者数、図書の貸し出し数に対し図書の蔵書数、職員数、司書の配置においてバランスを欠いていると感じる。中央図書館の機能(一括管理・契約事務その他すべての庶務事項)を飯山図書館へ移すべきである。先ず利用する市民の立場で考え、さらに飯山図書館の窓口の視察や職員の声を聞くなどが必要であると考え。 ・一般図書毎年10,000冊の蔵書を目標として3館がそれぞれ選書収集しているとのこと。選書収集にあたっては3館で連絡会をして購入すべきと考える。 【今後のあり方・方向性】 ・図書館は将来の丸亀のまちづくりに役立つ宝の山で、人づくりの源泉。丸亀の文化のバロメーターともいえる。「社会教育法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」(参議院)(H20.6.3)には、指定管理者制度の導入による弊害についても触れられており、そうしたことを十分に配慮しながら、そのあり方について検討する必要がある。検討にあたっては、図書館検討委員会などを設置し、熟慮していただきたい。	教育部 図書館

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る			
政策目標	-3 市民が生きがいをもって暮らせるまち			
施策目標	-3-1 芸術・文化活動や人と人の交流を通じ、生きがいを感じている			
施策番号	33	施策名	国際交流の推進	関係部署 総務部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見) ・子ども会の行事やスポーツイベントなどを通じ、外国人と普段の交流にももっと力を入れてほしい。 「いつでもお越し下さい。」といった案内状を送付するとか、客人としてではなく、住民として暮らす外国の方に対しては、そんな姿勢こそ大切ではないか。
(その他) ・世界の中の日本を考えた時、国際交流にもっと力を入れるべきだと考える。丸亀市に大学はなく、外国の有名大学(ハーバード・ケンブリッジ・オックスフォード)の日本分校を誘致することを考えてはどうか。綾歌総合運動公園建設予定地～森林公園エリア一角をキャンパスに。外国から学ぶこともあれば、日本の良さを再発見でき、「丸亀から世界へ」人、物、情報の交流を積極的に進めるべきである。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る			
政策目標	-3 市民が生きがいをもって暮らせるまち			
施策目標	-3-2 スポーツ・レクリエーション活動を通じ、生きがいを感じている			
施策番号	34	施策名	スポーツ・レクリエーション活動の振興	関係部署 都市経済部 教育部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言	
(進捗度、成果指標に関する意見)	
(施策を進める手段等に関する意見) ・できるだけ市民が簡単に使用できるシステムにしていきたい。	
(その他) ・心豊かな人、生きがいを感じるまちづくり、スポーツ、芸術、文化の振興・推進は重要である。	

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
152	(香川丸亀ハーフマラソン大会) 【手法の妥当性・提案】 ・丸亀市の知名度を上昇させるためには、この程度の予算は妥当と考える。	教育部 生涯学習課
156	(体育施設開放事業) 【手法の妥当性・提案】 ・開放施設の運営にあたっては、開放時間にこだわらず、夜間照明についても未使用時には必ず消灯するなど、経費の節減に努めていただきたい。 ・スポーツ少年団などに対する配慮は継続してほしい。	教育部 生涯学習課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	自治・自立のまちを創る			
政策目標	-1 市民がつくるまち			
施策目標	-1-1 市政に関する情報が共有されている			
施策番号	35	施策名	情報の発信と地域情報化の推進	関係部署 総務部 企画財政部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
(その他) ・今、様々な方法で情報取得できるが、法律や制度が変わったことに対して十分理解していないために不利益を被ることもあると思う。デジタル放送への移行など、スムーズに行われるのか不安もある。 ・広報誌やホームページの充実が感じられる。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
159	(広報活動(ホームページ)) 【今後のあり方・方向性】 ・HPのアクセス数はパソコンの普及率とともに上昇すると思われる。1次評価の通り、バナー広告の収入増を期待する。	総務部 秘書広報課
160	(ケーブルテレビ促進事業) 【今後のあり方・方向性】 ・特にケーブルテレビを促進する意味はなくなっているのではないか。	企画財政部 企画課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	自治・自立のまちを創る				
政策目標	-1 市民がつくるまち				
施策目標	-1-2 市民が市政に参画している				
施策番号	36	施策名	市民参画の促進	関係部署	総務部 企画財政部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言
(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
(その他) ・「市民参画の促進」の言葉と活字がひとり歩きしているように思えてならない。市民からの提案、要望に対する市の回答について常々誠意がなさ過ぎると感じており、内容・意向が充分把握できないのか理解に苦しむ。

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
161	<p><b>(広聴活動)</b>  <b>【手法の妥当性・提案】</b>            ・タウンミーティングについて、参加者の大幅な減を踏まえ、過去からのやり方にこだわることなく、新たな形でチャレンジしようとしている点については、評価をしたい。            ・タウンミーティングは、市民の関心の高い(生活に密着した)テーマに即した内容とする必要がある。            ・もっとタウンミーティングの機会を知ってもらう必要がある。            ・本年度からスタイルを変更して、市長自ら市民の声に耳を傾けることは歓迎すべきであるが、個別懇談については、できるだけ多くの人が懇談できるよう、市及びコミュニティにおいて検討する必要がある。            ・タウンミーティングは、市民参加・交流の場としての効果はあるが、内容(議題)が定型化して市民の思いを引き出すまでの企画がない。「すぐに時間ですから」と打ち切る。何人にもわかりやすい言葉を使うべきと考える。            ・参加市民の意識改革として、「市から来た」というのではなく、「コミュニティが呼んだ。そして意見を述べる」となるべき。コミュニティに全責任を任せるべきであり、タウンミーティング参加人数の減少の理由を、コミュニティへ書面で求めるべきである。            ・タウンミーティングがコミュニティ市長室に変わる。市民の声を市政に生かすためには、時と場所を選ばないはず。いつも市役所のあらゆる機関で声を聴く姿勢を持ってほしい。</p>	総務部 秘書広報課



# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	自治・自立のまちを創る				
政策目標	-1 市民がつくるまち				
施策目標	-1-3 市民と市の協働によりまちがつくられている				
施策番号	37	施策名	市民活動団体の支援充実	関係部署	生活環境部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

施策に関する意見・提言	
(進捗度、成果指標に関する意見)	
(施策を進める手段等に関する意見) ・市民活動が充実できる場所をもっと提供する必要がある。	
(その他) ・市民活動・研修育成の資料や回覧が多く配布されるが、文章やレイアウトなどにおいて「読んでほしい」「参加してほしい」等の気持ちが伝わってこない。	

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署



# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	自治・自立のまちを創る			
政策目標	-1 市民がつくるまち			
施策目標	-1-3 市民と市の協働によりまちがつくられている			
施策番号	38	施策名	協働事業の推進	関係部署
				生活環境部

施策の進捗度評価	B やや遅れている(現時点で数値の向上が見られないが、今後成果が期待できる)
----------	--

## 施策に関する意見・提言

(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働事業の内容をもっと精査する必要があるのでは。学識経験者よりも事業を必要とする現場、当事者の意向を十分理解することが大切である。ニーズの多様化もあるが、市民の参加ではなく、参画する意識が大切であると考え。</li> <li>・協働事業への参加意識が希薄になっている。各種団体(文化交流会の組織)などの末端までチラシ等の配布広報をすべきで手間がかかるが、それしか方法はないと考える。</li> <li>・プロポーザル方式による公募型の協働事業以外にも協働で進んでいる事業はたくさんある。それらの事業に対する支援の姿勢がもっとあっていいのではないかと。</li> </ul>
(その他)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働事業に対する市民の理解が浸透していないように感じるが、今後徐々に熟成させれば充分であると考え。</li> <li>・進行の度合いは低いですが、考え方は評価できる。</li> </ul>

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
164	<p>(協働事業)</p> <p>【今後のあり方・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案公募型協働事業は、単なる団体支援ではなく、市民生活や地域での様々な課題解決に向けて、市と市民活動団体との協働モデル事業として実施されるものである。1年の事業期間を経た後もさらに継続して活動が続けられるべきであるが、社会貢献度の高い活動でありながら継続が困難となった場合には、引き続き市が支援することも検討すべきだと思ふ。</li> </ul>	生活環境部 生活課

# 評価結果表

総合計画の体系				
政策の柱	自治・自立のまちを創る			
政策目標	-1 市民がつくるまち			
施策目標	-1-4 地域コミュニティが自らまちづくりに取り組んでいる			
施策番号	39	施策名	コミュニティ活動の活性化	関係部署 生活環境部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターの利用者数は十分に向上している。</li> </ul>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちのまちは、自分たちでつくる」と言う市民の意識改革が必要である。</li> <li>・行政は、コミュニティと情報交換の中で、各地域が持つ魅力や個性を巧く引き出せるよう、コミュニティ活動を後押ししながら進めていただきたい。</li> </ul>
<p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を行ううえで、各コミュニティの業務負担が非常に大きくなってきていると感じる。コミュニティ組織の中で各部会員は無償で多くの業務を担っており、市はこうした実情を十分に認識し、市とコミュニティ双方が適切な役割分担のもとに活動することを望む。</li> <li>・また、コミュニティの事務局は、市の情報を地域に伝えることはもとより、コミュニティ組織の自主性を高め、運営上の課題に取り組んでいくべきである。</li> <li>・コミュニティが発展することは良いことである。しかし、施設を改修するには多額の費用を要することから、今後の改修については市民のニーズ・必要性を十分に踏まえた上で実施していただきたい。</li> </ul>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
166	<p><b>(コミュニティまちづくり計画策定事業)</b>  <b>【その他の意見・留意事項等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という市民の意識改革が必要である。現在「コミュニティまちづくり計画」が城乾・垂水・飯山南・北コミュニティにおいて策定済あるいは策定中であるが、この程度の進捗であることは残念である。担当部署のさらなる働きかけを期待する。</li> </ul>	生活環境部 生活課

# 評価結果表

## 総合計画の体系

政策の柱	自治・自立のまちを創る		
政策目標	-2 市民とともに改革するまち		
施策目標	-2-2 効率的な行政システムが構築されている		
施策番号	40	施策名	定員管理の適正化と人材育成
		関係部署	総務部 企画財政部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

## 施策に関する意見・提言

(進捗度、成果指標に関する意見)
(施策を進める手段等に関する意見)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の例規やその他市の発行する公文書には、「人材育成、職員の意識改革に努めます。」といったようなことが多く記されているが、具体的内容が示されていない。「計画、実施、評価、改善」のサイクルをきめ細く実行するべきで、市民が最も注目しているところである。管理職と一般職員との相互評価制度を導入するべきである。</li> <li>・研修だけが育成ではない。市民と温かい対話ができているか実務のロールプレイングを行い向上すべきである。</li> <li>・市民サービスの向上と維持のために、適材適所の人的配置と人数の確保が必要であると思う。</li> <li>・職場によっては、職員不足で、任務を遂行するために一人の負担が加重になっているように見受けられる。環境が改善され、職員の研修や情報交換する時間の確保が必要だと思う。</li> <li>・今後、アルバイト、派遣職員を増加しないで980人体制を維持して欲しい。</li> </ul>
(その他)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革を進めるうえで最も重要な問題であると思う。</li> <li>・職員研修はできる限り重複者を少なくし1人でも多くの職員が参加できるように、また健康診断など職員の健康管理には十二分に配慮し全職員が定年退職を迎えられることを望む。</li> <li>・市民のための人材育成については評価する。</li> </ul>

## 事務事業に関する意見・提言

事業番号	意見	関係部署
167	<p>(職員研修)</p> <p>【今後のあり方・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業も組織も「人」がすべてである。職員研修についても形式的な研修ではなく、実践的かつ内容のある研修であるべき。海外研修も積極的に取り入れるべきで、グローバルな発想で、ローカルな行動力で職員一人ひとりが自信を持って職務と向き合い市民と接してほしいと思う。上司の顔色を見たり、慣例にとらわれることなく、世界に誇れる丸亀市を目指してほしいと思う。</li> </ul> <p>【その他の意見・留意事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署、会議室、その他市の施設に世界地図(地球儀)を掲示することを提案する。グローバルな発想で地方的行動をとるべきで、金魚鉢の中だけを見ていたのでは、「自然と歴史が調和し、人が輝く田園文化都市」～協創でつながるまち丸亀～の実現は難しいと考える。</li> </ul>	総務部 職員課

# 評価結果表

総合計画の体系					
政策の柱	自治・自立のまちを創る				
政策目標	-2 市民とともに改革するまち				
施策目標	-2-2 効率的な行政システムが構築されている				
施策番号	41	施策名	電子自治体の推進	関係部署	企画財政部

施策の進捗度評価	A 予定どおり(以上に)進捗している
----------	--------------------

施策に関する意見・提言
<p><b>(進捗度、成果指標に関する意見)</b></p> <p>・短期的には、あるいは、個別の事業では、今回の電子申請業務の休廃止のように、色々なことがあるだろうが、ITは今後とも日進月歩の進歩を遂げ、社会を大きく変えていくものであり、「電子自治体」の推進は今後とも大変重要な目標の一つであるので、市民の利便性向上の観点に立ち、いかにITを巧く活用し、行政に取り入れていくかの常なる検討や努力を引き続き期待したい。</p>
<p><b>(施策を進める手段等に関する意見)</b></p> <p>・税申告も電子化になっている時代であり、手続きが迅速に行われるためには必要な取組である。</p> <p>・電子入札と一般の入札とで不平等にならないように、また情報弱者に対する配慮は常に忘れてはならないと思う。</p>
<p><b>(その他)</b></p>

事務事業に関する意見・提言		
事業番号	意見	関係部署
169	<p><b>(電子入札システム導入事業)</b>  <b>【今後のあり方・方向性】</b>                      ・公平性・透明性・効率性の観点からも、財政課以外の課でも推進すべきではないか。                      ・電子入札システムは、入札制度面での改革も同時になされなければ、宝の持ち腐れともなりかねず、システムが競争性をより高めるためのツールとしての真価を発揮できるように、導入を機に、入札制度面でも改善すべきはするようにされたい。</p>	企画財政部 財政課
170	<p><b>(庁内ネットワーク整備事業)</b>  <b>【その他の意見・留意事項等】</b>                      ・関連機器の導入にあたっては、機器の性能、管理費用等について十分に検証し、業務内容に適合した機器の導入と効率的な運用に努めていただきたい。そのためには、市職員においても、情報機器に関してある程度の専門的知識が必要であると考え。</p>	企画財政部 企画課

## その他全般にわたる意見・提言等

### 【行政活動全般について】

- ・行政サービスの質の向上のために、各部課内で知恵を出し合い協力することは勿論であるが、他の部署と連携して広くネットワークを組んで取り組むことにより、いっそう豊かな効果が得られることも多いのではないか。
- ・行政改革の渦中にあるが、将来のまちづくりを展望して、市として責任を持って取り組むべき課題には、投資を惜しまず果敢に取り組んでいただきたい。

### 【行政評価の内容・手法等について】

- ・設定された指標の考え方や目標設定・実績値の算出根拠などが不明確で、判断材料となりにくい指標がいくつか見受けられる。数値が何を示すものなのか、できるだけ市民にわかりやすく表示していただきたい。
- ・1次評価において今後の展開等について述べられているが、担当部署によっては具体性に欠け、何をどうするのがよくわからないものがある。できる限り具体的な所見を述べるよう努めていただきたい。
- ・事務事業の実施に要する経費については、もう少し具体的な内訳が必要である。
- ・市が交付する補助金や指定管理者に支払う委託料などについて評価する際には、必要に応じて相手方の決算書を確認するなど、活動内容をさらに検証する必要がある。
- ・平成19年度単年度で実施完了する事業や平成20年度新規事業については、外部評価を行う必要があるのかどうか疑問である。
- ・これから丸亀市を支える20代・30代といった若い人の意見をお聞きしたかった。若い人は仕事で出席が容易ではないが、会議の開催時間を工夫すれば可能になるのではないか。
- ・今回の外部評価については、評価対象が施策41件、事務事業170件と非常に広範囲なものとなり、これだけの範囲を各委員が理解するのは容易ではない。41の施策を3から4に大別し、専門的分野から議論する方がより有益な意見が出されるのではないか。「生活」「産業」「文化」などに分類した部会を設置することも一手法であると考える。
- ・評価結果をできる限り予算・その他行政活動に反映していただき、またその反映状況について適切な時期に説明していただけるようお願いしたい。